

岩手県地域公共交通網形成系計画（素案）に係る

パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間 平成 31 年 1 月 25 日（金）から平成 31 年 2 月 24 日（日）

2 実施方法

- (1) 閲覧場所：県庁行政情報センター、各地区合同庁舎行政情報サブセンター、県庁県民室、県立図書館、県公式HP
- (2) 資料入手：県庁行政情報センター、各地区合同庁舎行政情報サブセンター、県公式HP
- (3) 意見等受付方法：郵便、ファクシミリ、電子メールによる意見募集

3 意見等の件数

郵 便	ファクシミリ	電子メール	その他	合 計
0 件	1 件	2 件	0 件	3 件

4 寄せられた意見等への対応表

番号	意 見	検討結果（県の考え方）
1	<p>1 観光客も利用できるよう、観光地を含むバス路線の設定や、運行情報の多言語表示、キャッシュレス対応など、使いやすいバス環境を整備して欲しい。</p> <p>2 ラストワンマイル対策として、「Uber」などの自動車サービス、「HELLO CYCLING」などのシェアサイクルの普及啓発など、シェアリングエコノミーを推進して欲しい。</p>	<p>1 本計画では、公共交通を利用しやすい環境整備により利用促進を図ることを掲げており、具体的には、路線バスにおけるＩＣカード等の導入検討やバスロケーションシステムの更新検討を行うこととしています。</p> <p>また、観光に関する二次交通の確保も重要と考えており、乗継など路線の接続機能の向上に向け、関係市町村や公共交通事業者等と協議・検討のうえ進めていきたいと考えています。</p> <p>2 一般のドライバーが、ガソリン代の実費を超える対価を得て利用客を運送する、いわゆるライドシェアのような、一般旅客自動車運送事業の許可を受けずに有償で運行を行うことは、現状において道路運送法で規制されています。</p> <p>配車アプリなどを活用した公共交通については、県内において導入する予定の事業者や市町村もなく、また地域内公共交通に該当するため本計画の対象としていないところですが、今後導入に向けた機運が高まるかを注視して、対応を検討していきます。</p>

番号	意 見	検討結果（県の考え方）
2	J R 東日本各路線や I G R いわて 銀河鉄道、三陸鉄道、バス路線、青い森鉄道等をフリーエリアとした周遊パスを検討して欲しい。	本計画では、県内外からの誘客に向けた魅力ある商品造成により、公共交通の利用促進を図ることを掲げていることから、御意見いただいた複数の公共交通事業者で利用できる企画切符の造成や実施についても取り組んでいるところであり、本計画に記載し引き続き働きかけを行いたいと考えています。
3	<p>1 「事業：新規採用による運転士の確保」の実施主体に県を加え、合同説明会の開催等において、県の一定の支援（会場提供、参加者募集・運営をイベント会社へ委託する等）を行う旨を記載して欲しい。</p> <p>2 「事業：高齢者に対応した利用促進」の実施主体に県を加え、市町村と交通事業者が協力して、高齢者フリーパスを導入する場合に、県も一定の支援をして欲しい。</p>	<p>1 合同説明会の開催については、本計画においてバス事業者の実施事業に掲げている「各種説明会・相談会の実施、参加」で記載しているところです。県としては、事業者が合同説明会を開催する場合は、本計画において運転士確保策に対する支援事業として掲げている運輸事業振興費補助により、支援していきたいと考えています。</p> <p>2 高齢者の公共交通利用の促進については、市町村毎に取組内容が異なっており、また地域の実情に応じた施策を行う必要があることから、従来と同様に市町村や交通事業者に御対応いただきたいと考えています。</p>